

生活行為向上マネジメント推進プロジェクト特設委員会からの情報発信

生活行為向上推進プロジェクトニュース

平成 29 年 3 月号 No.18

目次／平成 29 年 3 月号

■重要なお知らせ

■協会やプロジェクトの動き

プロジェクト事業, 研修修了者数(2月末現在)

■プロジェクトからの連絡

1. MTDLP 事例班から合同審査と事例審査進捗の

報告

2. 「多領域 における生活行為マネジメントの実践」研修会の報告

3. MTDLP 指導者研修会を開催しました

4. その他

5. 協会事務局からのお知らせ

重要なお知らせ

委員長 谷川 真澄

平成 29 年度 プロジェクト終息に向けて

現在まで協会は重要課題として MTDLP 推進プロジェクト委員会を設置し、MTDLP に関する OT への教育システムの構築を柱に、実践促進、職能としての対外的な一定の認識向上を図ってきました。平成 29 年度は最終年度としてその取り組みを総括し、MTDLP の捉え方、普及の方針を改めて整理し、会員に向けて示していきたいと考えています。

MTDLP の質の向上と普及の流れを止めないために、その機能を他部局へ移行完了することで特設委員会はその役割を終えます。本委員会のような特設と名の付く委員会そのものが協会の歴史になかったものです。本委員会が設置以降、同様の特設委員会が生まれていますが、特設委員会がどの様に終息の形をとるのか・それを示すのも大きな役割となります。

各士会事業計画にあたって

平成 29 年度は本委員会終了後の平成 30 年度運営のシミュレーションとなります。生涯教育制度研修担当者と MTDLP 推進委員、MTDLP 指導者、MTDLP 暫定ファシリテーター、士会事務局等それぞれの連携を図っていただき、士会組織の状況に応じた体制づくりにご協力をお願いします。

また、平成 29 年に限りませんが、事業計画にあたって、「MTDLP 研修履修会員数の目標に向けた、研修会の回数や案内の工夫、研修方法を十分検討しての事業計画立案」「新卒会員への研修参加促進」等、ご考慮下さるようお願いいたします。

協会・プロジェクトの動き, 情報

プロジェクト事業

■研修修了者数(2月末現在) 会員数 54,842名

MTDLP 概論・演習受講者	18480名	+1134名
MTDLP 研修修了者	3654名	+245名
MTDLP 指導者	95名	+2名

■ プロジェクトからの連絡

1. MTDLP 事例班から合同審査と事例審査進捗の報告

事例登録班 田村 大

平成 29 年 1 月 21 日 22 日新大阪丸ビルにおいて、第 3 回 MTDLP 合同審査会が開催されました。審査員 35 人で 139 事例の審査を行いました。事例の審査は終了し現在は最終確認を行っています。順次審査終了の案内が届く予定となっています。

平成 29 年 3 月 6 日時点での事例審査進捗状況について報告致します。新規事例登録に関しては 11 月までに登録された事例が審査開始とな

っております。また再登録事例も同時に進めております。再登録事例につきましては、基本的に同じ審査員が審査をすることになりますので、審査員の審査スケジュールの都合上時間がかかる場合があります。その点をご了承ください。最新の進捗状況については下記の URL をご参照ください。

<<http://mtdlp.jp.org>>

2. 「多領域における生活行為マネジメントの実践」研修会の報告

濱田 正貴

平成 29 年 1 月 28 日 29 日社会医学技術学院において、「多領域における生活行為向上マネジメントの実践」研修会が開催されました。全国から 67 名参加がありました。1 日目に心疾患、がん、神経難病、脊髄損傷、2 日目に小児 2 事例、認知症 2 事例、精神 2 事例と多領域の実践を、大変刺激を受けながら聞くことができました。一日半と長丁場の研修でしたが、異なる領域を「作業療法を見える化したツールである MTDLP」を通すことで理解しやすく、考え方を深めることができた貴重な研修会であったと思います。どの領域においても目標の聞き取り、合意形成について丁寧に話していただき、大変参考になりました。

参加者からは、「精神科では MTDLP の実践は難しいと思っていたが、考え方が変わり、自分もやってみようと思いました（自分で対象者の壁を作っていたことに気づきました）」や「認知症の方には目標の聞き取りが難しいから MTDLP を

導入できないと思っていたけど、工夫すれば聞き取れることが分かったので、今後は活用したいです」、「県士会で精神障害領域や発達障害領域での取り扱いが問題になっているので、今回のような研修会を継続し、サブシートの工夫も希望します」など聞かれました。

講師の方の熱い想いに時間の経つのを忘れた 2 日間でした。



3. MTDLP 指導者研修会を開催しました！

指導者研修実行支援班 竹内さをり

去る2月11、12日、新大阪丸ビル新館にて、2016年度の指導者研修会を開催いたしました。ご協力、ご参加頂きました皆さまありがとうございました。

今回、研修対象としたMTDLP指導者が当初の予想よりも少なかったため、途中から対象者を推進委員、士会暫定ファシリテーターに広げて行うことになりました。

各士会からのご協力もあり、当日は54名のご参加を頂きました。1日半の長い研修でしたが、参加頂いた皆さんにはとても熱心に受講頂きました。1日目の研修は、MTDLP指導者の役割の理解から始まり、マネジメント論、インテーク技術について、基礎研修の進め方について学びました。2日目の事例のファシリテート方法、事例審査については、同じ事例を通じて、グループでどこを修正すれば良いのか検討し、修正後のA判定、S判定へと改善した事例について知る機会になりました。

研修アンケートでは、いずれの講義も「よく理解できた」、「理解できた」との回答が90%を超えており、また今後の取り組みに役立つと「大変思う」、「思う」との回答も同様の結果となりました。

研修への意見では、講義内容が士会での推進や事例ファシリテートに役立つというご意見や自らの事例登録にも役立てたいとの声を多数頂きました。これらの意見は、今回の参加者に暫定ファシリテーターが多かったことも影響していると思われます。

2017年度も本研修会の開催を予定しております。詳細は、4月以降に協会ホームページにてご確認ください。



4.その他

連携システム班 濱田 正貴

MTDLP 関係メディア,雑誌情報

◎マニュアルが改訂されました。今後の研修は、改訂版で研修を行うようにお願いします。

57:生活行為向上マネジメント第2版 1000円

5. 協会事務局からのお知らせ

事務連絡

- ・『作業療法マニュアル57』を購入する際は、[協会ホームページから注文書をダウンロードしてご](#)注文ください。発送までには1週間～10日かかりますので、ご注意ください。

編集／生活行為向上マネジメント連携システム班（担当：濱田）